

病害虫発生予察注意報第3号

(平成 24 年 8 月 24 日)

病害虫名 ウンカ類

1 発生作物 水稻

2 発生地域 大阪府全域

3 発生の状況

(1)8月17日の巡回調査(泉州地域)でウンカ類(トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ)の増加が確認された。

(2)8月前半の巡回調査(北部地域、和泉市)でも、ウンカ類の増加が確認されており、和泉市の一部のほ場(8月7日)ではトビイロウンカの多発生を確認している。(防除情報「水稻のウンカ類に注意しましょう」発表(8月14日))

(3)特にトビイロウンカは、株当たりの寄生虫数が急激に増加し、特に出穂期以降多発するとほ場の一部が直径5~10mの円形に枯れるため、坪枯れと呼ばれる被害となる。

○トビイロウンカの発生状況(8月17日現在)

調査地点	25株当たり虫数(本年)	8月の25株当たり虫数の平均(過去10年間平均)
和泉市国分町	10.3	4.0
泉佐野市日根野	2.3	0.4
岬町谷川	0.7	0.6
大阪府平均	1.5	0.7

各調査地点3ほ場 1ほ場あたり25株

4 防除対策

(1) ほ場の状況をよく観察し、早期発見に努める。特にトビイロウンカはほ場間や同一ほ場内でも偏りがあるので、ほ場の見回りを徹底し、ほ場全体の発生状況の把握に努める。

(2) 薬剤散布は株元まで十分に薬剤が行き渡るように行う。

(3) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、同一グループの薬剤を連用しない。

(4) 薬剤防除については、以下の薬剤を参考とする。

※特に早生種では収穫期が近いので、薬剤使用にあたっては収穫前日数に注意する。

- ・スタークル粒剤、アルバリン粒剤(ウンカ類 3kg/10a 7日/3回)
- ・スタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤(ウンカ類 3,000倍 7日/3回)
- ・アプロード水和剤(ウンカ類幼虫 1,000~2,000倍 7日/4回)
- ・MR. ジョーカーEW(ウンカ類 2,000倍 14日/2回)
- ・MR. ジョーカー粉剤DL(ウンカ類 3~4kg/10a 7日/2回)
- ・トレボン粒剤(ウンカ類 2~3kg/10a 21日/3回)
- ・トレボン乳剤(ウンカ類 1,000~2,000倍 21日/3回)



▲トビイロウンカ成虫(長翅型)

(全体が脂ぎった褐色で、体長は4~5mm程度)